

第5学年1組 国語科学習指導案

千葉県立畑小学校
授業者 鵜飼 桃子

1 単元名 「畑小や畑町のよいところ」を選んで、先生方へすいせんしよう

2 単元の目標

- 自分が推薦するもののよさが伝わるように、また聞き手が納得するように話すことの大切さを理解し、その方法や効果を日常生活でも意識することができる。
(国語への関心・意欲・態度)
- 考えたことや伝えたいことなどから話題を決め、収集した知識や情報などから関係づけることができる。
(話すこと・聞くこと(1)ア)
- 目的や意図に応じて、事柄が明確に伝わるように話の構成を工夫して話することができる。
(話すこと・聞くこと(1)イ)
- 目的や場面、相手に応じて語句を選び、ふさわしい言葉遣いで話すことができる。
(言語についての知識・理解・技能)

3 評価規準

国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	言語についての知識・理解・技能
・自分が推薦するもののよさが伝わるように、また聞き手が納得するように話すことの大切さを理解し、その方法や効果を日常生活でも意識している。	・考えたことや伝えたいことなどから話題を決め、収集した知識や情報などから関係づけている。 ・目的や意図に応じて、事柄が明確に伝わるように話の構成を工夫する。	・目的や場面、相手に応じて語句を選び、ふさわしい言葉遣いで話している。

4 単元について

(1) 単元を貫く言語活動と扱う教材

本単元では、A「話すこと・聞くこと」の言語活動例「ウ 事物や人物を推薦したり、それを聞いたりすること。」を具体化し、「伝える相手に合わせて、学校や学校周辺のよいところを推薦する」という活動を、単元を貫く言語活動として設定する。

本校では、今年度授業者を含め7人の職員が新たに着任した。近隣校からの異動者もいるが、ほとんどが若葉区や中央区といった本校からは少し距離のある学校からの異動者である。また校長については中学校からの異動ということで、初めて小学校職員として勤務している。

そこで担任をはじめ、今年度着任した職員の中から児童に関わりのある職員5人を相手として、畑町周辺や畑小についてどのようなことを紹介するのがよいのかを考え、グループごとにおすすみを発表することを学習のゴールとする。新しく着任した職員に、畑小や畑町のおすすみを紹介することで、学級や学年での学習はもとより、委員会やクラブ活動など今後の学校生活でさらに関係を深められるようにしていくことを目的とする。

本学習では、「すいせん(推薦)する」ことを、「いくつかの事物からよりよいものを選び、“すすめたい”という思いをもって伝えること」と捉える。事物に知っていることを伝えたり、教えたりする「紹介」よりも、話し手の「よりよいものを紹介したい」という強い思いをあらわすことだと考える。そのためには、その事物のよさを相手に説明し、納得させることができなくてはならない。

そこで、発表する相手の興味や関心に応じてどのようなことを推薦するのがよいのか考え、児童それぞれが決定する。それぞれが決定した内容をグループで持ち寄って検討し、「私たちの畑町・畑小のおすすみ」を考え、職員に推薦できるようにしたい。

本単元で扱う教材は、自分の推薦する事物に関する情報や資料である。子どもたちがすいせん内

容を決めるための手だてとして、紹介相手（教師）の趣味・関心や、畑小・畑町周辺のことでどんなことに興味をもっているかなどをアンケート調査し、「畑小・畑町のよいところ」の中から、より紹介相手に合った推薦内容が決定できるようにする。

またアンケートの回答をもとに推薦内容を決定したあとは、自分の推薦する「畑小・畑町のよいところ」について、インタビューしたり本やインターネットでより詳しく調べたりするなどの取材活動を行う。取材活動を行うことによって、より説得力のある説明や推薦理由が話せるために必要な情報を収集していく。また推薦する際に必要な写真や資料、絵などを用意し、話の構成や内容を考えて原稿を作り、同じグループの友だちに発表できるようにする。

友だちの話を書く側も、推薦する相手に合った内容になっているかを考えたり、その事物を推薦する理由が明らかになっているかどうかなどに注意したりしながら、話を聞くことができるようにする。自分が調べた情報と比較しながら、推薦内容について適切かどうか考えながら聞けるようにする。

話す方も聞く方も「相手に合った・相手が納得できる畑小・畑町のおすすめを決める」という目的に応じて、内容の構成や話の仕方、聞き方ができているかという点に重点を置いて学習が進められるようにしたい。

（２）単元で身に付けさせたい力

本単元は、学習指導要領 5 学年・および 6 学年の A「話すこと・聞くこと」の目標「目的や意図に応じ、考えたことや伝えたいことなどについて、的確に相手に話す能力、相手の意図をつかみながら聞く能力、計画的に話し合う能力を身に付けさせるとともに、適切に話したり聞いたりしようとする態度を育てる」に基づき、A「話すこと・聞くこと」の指導事項ア（話題設定や取材に関する指導事項）「考えたことや伝えたいことがらなどから話題を決め、収集した知識や情報に関係づけること。」、また A「話すこと・聞くこと」の指導事項イ・ウ（話すことに関する指導事項）イ「目的や意図に応じて、事柄が明確に伝わるように話の構成を工夫しながら、場に応じた適切な言葉遣いで話すこと。」を受けて設定している。

そこで話し合いの際には、それぞれがグループの友だちが納得できるよう根拠をはっきりさせて内容を考えたり、グループの友だちに事柄が明確に伝わるように話の構成を工夫したりしながら、場に応じた適切な言葉遣いで話ができるようにする。

本単元で畑小・畑町のおすすめを発表する相手は、校長と授業者を含む 5 学年担任 2 名、音楽担当教諭、図書館指導員の計 5 人である。グループごとに発表する相手を決め、相手に合ったおすすめとその理由を明確にして話ができるようにする。

本校の校長は中学校での勤務年数が長く、小学校での勤務ははじめてである。畑小のおすすめの中でも、小学校にしかない行事や学習のよさや、逆に中学校との共通点に絞って選んだ推薦内容などが考えられる。音楽担当教諭は中央区の中規模校から異動してきている。畑町ののんびりした町並みや、近代的な海浜幕張周辺に近いなど、地域の違いに目をつけたおすすめなどが考えられる。5 学年担任については、毎日の学校生活や学習の中で最も関わっている教師であり、児童との距離がいちばん近い相手である。そこで観点をさらに絞り込んで、自分たちの学年の魅力や個々の児童のよさなど、児童のことがより詳しくわかるような内容などが考えられる。発表する相手に合った観点をもちおすすめを考えられるようにしたい。

また教科書の例文をもとに、相手がわかりやすく、納得できるような話の構成や資料の提示の仕方について学び、自分の伝えたい内容がよりよく伝わるための原稿の書き方・発表の仕方や、そのために必要な資料や効果的な写真を集めるなどの工夫ができるようにする。

話を聞くことについても、A「話すこと・聞くこと」の指導事項エ（聞くことに関する指導事項）の「話し手の意図をとらえながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめること」を受けて単元が設定されている。話の目的や意図は何か、自分の伝えたいことは何か、共に考えたいことは何かなど、相手の話の内容を十分聞き取るとともに、取り上げられた内容について自分の考えと比べ、関連して考えたことなどを整理し、まとめられるようにしたい。友だちとの共通点や相違点を意識し、「友だちはこんな点に注目しておすすめを考えただけだ。自分の推薦理由とは、こんなところが違う

な。」など、グループの友だちと自分の考えの比較をしながら話を聞けるようにしたい。

今回おすすめを発表する相手は、すべて児童より年長者で教師という立場の方である。敬語や語句の選び方など、相手や場に応じた適切な言葉遣いについても意識して話ができるようにしたい。

(3) (1) と (2) の基盤となる言語環境や継続的な取り組み

①継続的な話す・聞く活動と話し合い(スピーチと感想)

本学級では毎朝日直によるスピーチを自由なテーマで行っているが、さらに担任や学級で決めたテーマについてスピーチを行う。テーマを設定することで、事前に収集した知識や情報などから関係づけて話すことができるだろう。調べた情報の取捨選択をしたり、相手に合った話題を選択したりするなどして、相手に応じた話の内容を考えることができるようにしたい。

聞く活動についても、テーマに沿って質問の内容を考えたり、テーマについて調べたことを根拠にして、話の内容の賛否を判断したりことができるようになることを考える。自分の知っている知識や調べたことと比較したりしながら、話を聞くことができるようにしたい。

またクラスでスピーチのテーマの中などから、「私たちの身の周りのことおすすめ」を伝える話し合い活動も行っていく。例えば給食や好きなテレビなどについて話し合う活動を行うことで、目的や意図に応じて、相手に事柄が明確に伝わるような話の構成の工夫を考えて話しをすることができるようになるのではないかと考える。

②相手意識を高めるための取材活動

本単元の学習では、自分の発表する相手に合った、「畑小のよいところ」や「畑町のおすすめ」を選ぶ必要がある。そのためには、相手の教師についてよく知った上で、選ばなくてはいけない。また「どうしてそれがよいのか」「どんなところがその相手に合っているのか」といった理由を明らかにする上でも、その根拠となる情報や知識を収集しておくことが必要である。

そこで学活や総合などの時間を使いながら、グループごとに発表する教師とおすすめ内容について調べることを行う。

まず発表する相手については、相手の前任校の地域や学校の様子、趣味や興味・関心などの、核グループで質問内容を考えてアンケートを取る。その結果をもとにして自分が考えたことから、相手に伝えたいおすすめ内容を決め、話ができるようにする。

次におすすめ内容についての取材を行っていく。児童にとっては「よくわかっている」と思っている畑小や畑町のことだが、発表する相手にとっては、地域の名称や学校の仕組みなどまだわからないことも多くある。「畑小・畑町を知らない人が聞いてもわかる」ために、地図や写真などの資料を用意したり、内容について家の人や友だちなどに詳しく聞くなどしたりして、伝えたい内容をより明確にするための資料集めや取材ができるようにしたい。

③目的や場面、相手に応じた語句集め

①の取り組みやふだんの学習の中で、意識して目的や場面、相手に応じた言葉や語句を集め、クラスの中で取り上げて紹介したり掲示したりすることで、ふさわしい言葉遣いで話すことができるようにする。難しい内容を言い換えるときに使う「つまり」などの語句や、理由をはっきりさせるときに使う「なぜなら」など、具体的な語句を集めて紹介したり、敬語の使い方を掲示したりすることで、どのような言葉遣いをすればより相手に内容が伝わり納得してもらえるのか、また場に応じた話ができるのかを意識できるようにしたい。

5. 児童の実態 (略)

6 単元の指導計画（全8時間）

次	時	学習活動	指導や支援の手だて ◇評価（評価方法）
第一次	1	○単元名やリード文を読み、聞き手が納得するような話し方について話し合い、学習の見通しをもつ。	○教科書の例文や語句を紹介して、自分が推薦するもののよさが伝わるように、また聞き手が納得するように話すことの大切さを説明し、朝のスピーチなどにも生かすよう声をかけて、意欲をもたせる。 ◇自分が推薦するもののよさが伝わるように、また聞き手が納得するように話すことの大切さを理解し、学習への意欲をもつ。 （ノート） 【国語への関心・意欲・態度】
	2	○教科書を読み、推薦する時の大事な点をつかむ。	○発表の流れ（推薦の目的と推薦するもの、その理由が明確か、発表の構成はどうなっているかなど）や工夫を確認できるようにする。 ○推薦内容に適した写真や資料の使い方について説明する。 ◇自分が推薦するもののよさが伝わるように、また聞き手が納得するような話し方や工夫を理解する。 （ノート） 【言語についての知識・理解・技能】

スピーチ
取材活動
語句・言葉集め

第 二 次	3	<p>○グループごとに発表相手を決定し、おすすをえるためのアンケート内容を考える。</p> <p><各グループ共通項目></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 推薦相手の前任校の場所（地域） ・ 趣味 ・ 畑小のことで知りたいこと・気になること ・ 畑町周辺のことで知りたいこと <p><各グループで加えた質問内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 好きな食べ物 ・ 読書や音楽の好み ・ 畑町周辺で行ってみたいところ ・ 好きな野菜 ・好きなスポーツ など 	ス ピ ー チ 取 材 活 動 語 句 ・ 言 葉 集 め	<p>○相手に合った推薦内容を決定できるよう、相手の興味・関心を知るためのアンケートを行うことを伝える。</p> <p>○推薦相手が皆、今年度着任していることを確認し、前任校との地域の違いや学校規模・校種の違いなどに着目してアンケート内容を考えるよう、助言する。</p> <p>○どの相手に対しても、共通して聞いた方がよい項目は、全体で話し合い決定する。</p> <p>◇自分が推薦するもののよさが伝わるように、また聞き手が納得するように話すことの大切さを理解し、その方法や効果を日常生活でも意識している。</p> <p style="text-align: right;">（作成したアンケート用紙）</p> <p style="text-align: center;">【国語への関心・意欲・態度】</p>
	4	<p>○アンケートの回答をもとに推薦するものを各自決定する</p> <p>○教師の見本や発表を見ながら、構成や資料の提示方法の工夫について理解する。</p>		<p>○教科書の例や教師が作った見本を見せ、原稿の書き方を説明する。</p> <p>○より説得力のある内容にするには、推薦理由が2つもしくは3つ以上は必要であることを話す。</p> <p>◇目的や意図に応じて、事柄が明確に伝わるような話の構成の工夫について理解する。</p> <p style="text-align: right;">（観察・ノート）【話すこと・聞くこと】</p>
	5	<p>○推薦するものについての取材活動行い（総合・学活と同時並行）、発表する際原稿を作る。</p>		<p>○推薦するものと推薦理由については、教師が個別に原稿を確認し、助言する。</p> <p>○推薦内容に適した写真や資料の選び方や提示の仕方について考えられるよう、アドバイスする。</p> <p>◇考えたことや伝えたいことなどから話題を決め、収集した知識や情報などから関係づけている。</p> <p style="text-align: right;">（ワークシート）</p> <p style="text-align: center;">【話すこと・聞くこと】</p>
	6	<p>○グループ内で推薦の発表を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 全員が一つずつ、推薦するものを発表する。 * この時間は、構成の工夫や資料の提示方法についてのみ見合い、互いのよい点や改善点を話し合う。 * 必要であれば資料の提示方法や原稿を修正する。 <p style="text-align: center;">（本時）</p>		<p>○推薦理由が明確に伝わるような構成になっているか、確認し、意識するよう支援する。</p> <p>○聞き手には話し手の推薦理由が納得できるものか注意して聞かせる。</p> <p>◇目的や相手に合うように構成を考えて、話をしている。（話し手）</p> <p>◇話し手の意図をとらえながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめている。（聞き手）</p> <p style="text-align: right;">（観察・ワークシート）</p> <p style="text-align: center;">【話すこと・聞くこと】</p>

第 二 次	7	<p>○修正原稿をもとに、グループで、発表の練習を行う。</p> <p>*前時同様、一人ずつ発表を行い、互いに見合う。</p> <p>*声の大きさや身ぶり、語句の使い方についてチェックする。</p> <p>*推薦相手が教師（年上）であることを考え、声の言葉遣いにも注意する。</p>	ス ピ ー チ 取 材 活 動 語 句 ・ 言 葉 集 め	<p>○前回の話し合いの結果を生かして、推薦理由が明確な構成になっているか、原稿を見直すよう伝える。</p> <p>○目的や場面に応じた語句や、目上の相手にふさわしい言葉遣いについて、ノートや掲示物を使って確認する。</p> <p>◇目的や意図に応じて、事柄が明確に伝わるように話の構成を工夫する。 (観察・ワークシート) 【話すこと・聞くこと】</p> <p>◇目的や場面、相手に応じて語句を選び、ふさわしい言葉遣いで話している。 (観察・ワークシート) 【言語についての知識・理解・技能】</p>
	8	<p>○「私たちの畑小・畑町のおすすめ」をグループごとに教師に発表する。</p> <p>*発表相手を招いて、おすすめを発表する</p> <p>○発表相手の教師からもらったコメントをもとに学習を振り返る。</p> <p>*コメントを読んで、自分が考えた「おすすめ」が相手に合っていたか考える。</p>		<p>◇自分が推薦するもののよさが伝わるように、また聞き手が納得するように話すことの大切さを理解し、その方法や効果を日常生活でも意識している。 (観察・ワークシート) 【国語への関心・意欲・態度】</p>

7 本時の目標と展開

(1) 本時の目標

- ・「畑小や畑町のよいところを選んで、先生方にすいせんする」という目的や相手に合うように構成を考えて、話をしている。

【話すこと・聞くこと】

- ・話し手の意図をとらえながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめている。

【話すこと・聞くこと】

(2) 本時の学習活動

- ・グループ内で、それぞれが選んだ「畑小や畑町のよいところ」を発表し、推薦する内容を決める。

(3) 本時の展開（8時間あつかいの6時間目）

主な学習活動	指導や支援の手だて ◇評価（評価方法）
1 前時の学習を振り返り、めあてを確認する。	○単元計画を示しながら、それぞれが選んだ「畑小・畑町のよいところ」をグループに発表し、構成を推敲する時間であることを確認する。
「畑小・畑町のよいところを選んで、先生方にすいせんしよう」	
2 教師の示す2つの例文（原稿）を見たり聞いたりして、構成や写真・資料の提示方法がどのように違うか考え、印象が変わることを知る。	○あらかじめ教師が作成した、「○○小のおすすめ」について、構成や資料の提示方法の異なる2つの例を提示・発表し、構成や資料の提示方法の違いによって印象が変化することを説明する。

<p>3 グループで発表する順を決め、全員が一つずつ、推薦するものを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時に作成した原稿メモをもとに、発表する。 ・資料がある場合は提示して話をする。 ・聞き手は、相手の原稿を見ながら話を聞き、チェック項目に従って推薦理由の構成を確認し、納得できるものか注意して聞く。 ・一人の発表が終わるごとに、グループで話し合い、検討する。 ・「おススメの理由」の構成や資料の提示方法や写真が適切だったかどうかについて、話し合う。 ・話し手は、必要であればその場で原稿の修正を行ったり、改善点をメモしたりする。 	<p>○今回は、話の構成についてのみ検討し、声の大きさや内容、言葉遣いなどについては、次時で確認することを伝える</p> <p>◇目的に合うように構成を考えて、話をしている。(話し手)</p> <p>(観察・ワークシート)【話すこと・聞くこと】</p> <p>○聞き手には、アンケート結果が活かされた構成になっているか、また話を聞いた時の印象などを話し手に具体的に伝えるよう、声をかける。</p> <p>○内容に合った資料や写真の提示方法になっているか、具体的にアドバイスするよう、声をかける。</p> <p>◇話し手の意図をとらえながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめている。</p> <p>(聞き手)</p> <p>(観察・ワークシート)【話すこと・聞くこと】</p>
<p>4 学習の振り返りをし、次の時間の確認をする。</p>	<p>○友だちから受けたアドバイスをもとに原稿の発表方法を修正・確認し、次回はグループで練習し、発表することを伝える。</p>

チェックシート①

名前)

※ ○・△で書かなくても可。

	《チェック内容》 / チェック者				
1	すいせんとする理由の順じよは、よいか。				
2	写真や図を見せるタイミングは、よいか。				

よりよい構成にするためのアドバイス

<p>名前)</p>	<p>名前)</p>
<p>名前)</p>	<p>名前)</p>

チェックシート②

名前)

※ ○・△で書かなくても可。

	《チェック内容》／ チェック者				
1	声の大きさはよいか。				
2	話す速さは適切か。				
3	敬語を使ったり、ていねいな言葉づかいをしたりしているか。				
4	説明するための言葉(はじめに・次に・つまり・ですからなど)は入っているか。				
5	繰り返しや強調などの工夫があったか。				
6	相手にすいせんするものよびを呼びかける言葉はあったか。				

そのためのすいせんするためのアドバイス

<p>名前)</p>	<p>名前)</p>
<p>名前)</p>	<p>名前)</p>

〈原稿メモ〉①

五年 一組 名前 鶺鴒 桃子

☆すいせんするもの

運動場（グラウンド）

☆出だしのことば

「」「」二つの運動場の写真があります。一体、ど「」の運動場なのでしょう。なんと、これは一つの小学校の運動場なのです。

☆すいせんする理由

安心して遊べる。

ブランコやのぼり棒などの遊具は前グラにまとめてあるので、サッカーやバスケットのときも、ぶつかる心配が少なく、安心して遊べるから。

外での学習がすぐにできる。

グラウンドが二つあるので、うらグラウンドで体育の学習をしているクラスがあっても、前グラで植物の観察やクラスのレクなどで遊ぶことができる。

他の学校にはない、〇〇小だけの持ちようだから。

他の学校の友達や、家の人、先生などに聞いても、二つもグラウンドがある学校は、聞いたり見たりしたことがないと言われ、とてもめずらしいから。

思いっきり体を動かして遊べる。

たてわり活動などの時に、遊ぶ場所が広くとれるので、思いっきり走り回れる。〇〇小では、けいどろが好きな人が多いので、逃げるはんいやろうやが広くとれて、みんな楽しく遊べるから。

☆まとめ

他の学校にはない、二つの運動場の良さを知ってほしい。二つの運動場を遊びくらべて、思いっきり走り回れる楽しさを体験してほしい。以上の理由からおすすめます。

〈原稿メモ②〉

五年 一組 名前 鵜飼 桃子

☆すいせんするもの

運動場（グラウンド）

☆出だしのことば

わたしは、〇〇小の自まんとして、二つある運動場の「前グラ」と「うらグラ」をおすすめします。すいせんする理由は四つです。

☆すいせんする理由

思いっきり体を動かして遊べる。	まず、この写真を見てください。（うらグラの写真） うらグラは、遊具がなく、とても広々している。「このようにたてわり活動などの時に、遊ぶ場所が広くとれるので、思いっきり走り回れる。〇〇小では、けいどろがすきな人が多いので、逃げるはんいやろうやが広くとれて、みんなで楽しく遊べるから。
-----------------	---

安心して遊べる。	次にこの写真を見てください。（前グラの写真） ブランコやのぼり棒などの遊具は前グラにまとめてあるので、サッカーやバスケットのときも、ぶつかる心配が少なく、安心して遊べるから。
----------	--

外での学習がすぐにできる。	グラウンドが二つあるので、うらグラウンドで体育の学習をしているクラスがあっても、前グラで植物の観察やクラスのレクなどで遊ぶことができる。
---------------	--

他の学校にはない、〇〇小だけの持ちようだから。	他の学校の友達や、家の人、先生などに聞いても、二つもグラウンドがある学校は、聞いたり見たりしたことがないと言われ、とてもめずらしいから。
-------------------------	--

☆まとめ

他の学校にはない、二つの運動場の良さを知ってほしい。二つの運動場を遊びくくられて、思いっきり走り回れる楽しさを体験してほしい。以上の理由からおすすめします。

〈原稿メモ〉

五年組名前

☆出だしのことば

☆すいせんする理由

☆まとめ